

令和 4 年度事業報告書

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 3 1 日

1.概 況

令和4年の幕明けも、新型コロナウイルス感染症対策の中で始まりましたが、政府は経済活動優先施策へ舵を切り、ウィズコロナの意識が広がりました。

そのような中、今まで中止や我慢をしてきたいろいろなイベントの開催も徐々に増え、まだまだ収束という事では無いにしても、立ち止まらず、一歩ずつ前へ進み早くコロナ禍以前、以上の日常になることを願うばかりです。

一方では、2月に勃発したロシアによるウクライナ侵攻は1年を経過しても出口の見えない紛争が続いています。この影響は世界各地へ飛び火し、穀物・燃料等の輸出阻止の影響は、すべての食品・飼料・燃料・物流コスト等の物価高騰をもたらし、世界の経済活動を停滞させ、世界の消費生活を逼迫させていきました。一日も早い解決が望まれます。

明るい材料といえば、3月下旬に始まったWBC（ワールドベースボールクラシック）での日本優勝の喜びは勿論ですが、日本チームの活躍が目覚ましく日本国中を巻き込んだ大会となり、多くの人たちが熱い日本を感じたひと時だったと感じました。

壱岐市内の経済活動におきましても、各種イベントの再開が多くみられ、活気が戻って来たと感じる一年でした。このような状況の中で、私たち法人会は「税のオピニオンリーダーたる経営者の団体」として税関連の事業啓発活動や社会貢献事業等の活動を出来る範囲で実施しております。

主なものでは、税制改正の提言について壱岐市長及び壱岐市議会議長と直接面談し、コロナ禍での小規模事業者への税制優遇等を最優先に支援してもらうよう要請をしました。青年部会や女性部会活動への積極的対応・応援、関連組織行事である結の会バザー祭への参加協力、3年振りの開催となった税のひろばへの参加・協力など、久々となった各イベントへの応援活動を行っております。

又、青年部会並びに女性部会が毎年実施しています「租税教室」と「税に関する絵はがきコンクール」等を中心に取り組んで参りました。

このように公益事業を更に広め、公益法人としての存在を高めるよう努めて参りますので、会員皆様のご理解ご支援を切にお願い申し上げます。

結びに、会員皆様には伝統ある壱岐法人会を継続発展させるためにも、引き続きご支援をお願い申し上げ事業報告とさせていただきます。

以下、事項別状況は次のとおりです。

付 属 明 細 書

事 業 実 施 状 況

令和 4年 4月 1日から令和 4年 3月31日

2.組織関係

(1) 会員の増減

期首会員数	期 間 中 の 異 動			期末会員数	備 考
	入 会	退 会	差 引		
341	4	10	△ 6	335	

(2) 青年部会・女性部会員の増減

部 会 名	期首会員数	入 会	退 会	期末会員数	備 考
青 年 部	42	6	2	46	
女 性 部	42	4	3	43	

3.研修関係

(1) 研修会（講演会等）の開催

開催月日	研 修 会 名	内 容 ・ 講 師	参加人員
R 4. 9. 14	講師養成研修会 (青年部会)	租税教室講師養成 長崎税務署広報官	4名
R 4. 9.20	税 務 研 修 会 (女性部会)	「消費税よもやま話」 講師 青木署長 「インボイス制度の概要」 野田統括官 「悪徳商法から家族を守る」 老岐市商工振興課・長山氏	9名
R4.11. 15	税 務 研 修 会 (青年部会)	「消費税よもやま話」 講師 青木 署長 「インボイス制度の概要」 講師 野田統括官	11名

4.税制関係（税制改正要望活動）

実施日	要 望 活 動 先		
R 4.11. 4	国 会 議 員	衆 議 院 議 員	谷 川 弥 一 様
	地 方 自 治 体	老 岐 市 長	白 川 博 一 様
		老 岐 市 議 会 議 長	豊 坂 敏 文 様

5.社会貢献活動関係

(1) 税の啓発活動

開催月日	事業名	事業内容
R 4.11.12 ～13	税のひろば行事 (税を考える週間) 11/11～17	JA フェスタが、規模を縮小し3年振りに開催され、会場内において税金クイズで来場者との対面式で実施することが出来た。併せて市回覧便で全世帯に配布した「暮らしと税」のチラシに税金クイズを掲載し、市民にクイズへの応募を募った。役員の声掛けの効果もあり、1,401 通の投票があり、税に係る一定の成果があった。

(2) 租税教育

開催月日	事業名	事業内容
R 4. 7.8	「租税教室」 鯨伏小学校	壱岐租税教育推進協議会主催により法人会青年部会が担当した。併せて女性部会より絵はがきコンクール事業の説明、募集を行った。 児童数20名
R 4.7.13	「租税教室」 八幡小学校	壱岐租税教育推進協議会主催により法人会青年部会が担当した。併せて女性部会より絵はがきコンクール事業の説明、募集を行った。 児童数11名
R 4. 10.28	「租税教室」 筒城小学校	壱岐租税教育推進協議会主催により法人会青年部会が担当した。併せて女性部会より絵はがきコンクール事業の説明、募集を行った。 児童数18名
R 4.11.11	「租税教室」 沼津小学校	壱岐租税教育推進協議会主催により法人会青年部会が担当した。併せて女性部会より絵はがきコンクール事業の説明、募集を行った。 児童数12名
R 4.12.9	「租税教室」 勝本小学校	壱岐租税教育推進協議会主催により法人会青年部会が担当した。併せて女性部会より絵はがきコンクール事業の説明、募集を行った。 児童数37名

(3) 税に関する「絵はがきコンクール」

女性部会が壱岐市内 9 小学校を対象として、税の「絵はがきコンクール」を開催し、税を財源とした事業の実例や物品の購入事例等を挙げて、税の使い方や役割を教え、絵はがきとしての出展を依頼した。

238 点の応募があり、学校ごとに優秀作品を選考した。その優秀作品の中で最も優れた作品を最優秀に選考し九北連女連協のコンクールに推薦し、審査の結果、今年度より新設された長崎県知事賞を見事受賞となった。また、最優秀に等しい作品として壱岐税務署長賞並びに壱岐市長賞も選考し、それぞれ賞状と記念品を授与した。

全作品については、各市庁舎の申告会場とスーパーイチャマのイートインスペースに展示すると共に、壱岐島内の新聞に事業内容や優秀作品等の掲載を依頼し、市民へ公開した。

(4) その他社会貢献活動

開催月日	事業名	事業内容
R 4. 8. 4	いちごプロジェクト	夏季の電力需要に対して無理なく節電意識を啓蒙する目的で、女性部会役員で市民に「うちわ」を配布しているが、対面での配布が出来ないので、壱岐市社協と市内スーパーに備え置きし、来客者に使用してもらい事業の理解を得た。
R 4.10.12	ボランティアウォーキング	久々のウルトラマラソンの実施に伴い、来島される方々を気持ちよく迎えるため郷ノ浦港付近からゴール地点にかけて、周辺沿線の清掃活動を併せて実施した。
R 4.10.25	老人ホーム慰問	本年もコロナ禍でホームへの立入や入所者との面会が出来無かったので、役員で日常生活用品の提供のみを行った。
R 4.11.6 ・ R 4.12.6	チャリティー事業	青年部会が HP 等で「テントサウナ」の開催情報を発し、広く参加者を募り開催した。参加者より参加料を徴し、この益金を県共同募金壱岐市支会へ贈呈、寄附した。
R 4.12.20 ・ R 4.12.22	いちごプロジェクト	冬季の電力需要に対して節電意識を啓蒙する目的で、女性部会役員で市民にチラシ等を配布し理解と協力をお願いした。
R 5. 2.12	少年フットサル大会	今年度は、3 年振りの開催となり、大会会場において協賛金並びに大会に参加した児

		童 217 名に税に関するチラシと賞品を配布した。
--	--	---------------------------

6. 広報活動関係

(1) 会報の発行

発行月日	発行番号	発行部数	内 容
4.10.31	No.80	500部	定期総会報告、税務署人事異動、着任あいさつ、税務署からのお知らせ、各部会活動報告、絵はがきコンクール優秀作品
5.1.31	No.81	500部	新年挨拶（署長・会長）、「税を考える週間」青年部会・女性部会活動報告、親会活動、税務署からのお知らせ、全国青年の集い・部会長サミット報告

(2) 諸資料の配布

資 料 名	配布回数	配 布 先
「ほうじん」（全法連機関紙） 会社役員をめぐる税務 Q&A	年 4 回	全会員
「税制改正のあらまし」	年 1 回	全会員
租税教育テキスト	9 回	租税教室時配付
わかりやすい年末調整実務	1 回	全会員・税務署

7. 厚生関係

◎大型保障制度の加入状況

令和 5 年 2 月末現在

会 員 数	加入企業数	未加入企業数	加 入 率
341	100	241	29.3%

◎大型保障制度の役員企業加入状況

役員企業数	加入不可能企業数	加入役員企業数	加 入 率
15	0	15	100%

◎AIG 保険制度会員加入状況

会 員 数	加入会員数	未加入企業数	加 入 率
341	33	308	9.7%

◎がん保険制度会員加入状況

会 員 数	加入会員数	未加入企業数	加 入 率
341	46	295	13.5%

8. 青年・女性部会関係

(1) 青年部会

開催月日	会議・事業等	参加人員
R 4 4. 21	九北連青連協租税教育研修会	1名
R 4. 6. 21	県法青連定時連絡協議会	2名
R 4. 8. 26	九北連青年部定時連絡協議会	1名
R 4 9. 14	租税教室講師養成研修会	4名
R 4. 11. 6	チャリティー事業(テントサウナ)	17名
R 4. 11. 15	税務研修会	11名
R 4. 11. 24 ~25	全国青年の集い 沖縄大会	2名
R 4. 12. 6	チャリティー募金、長崎県共同募金会へ贈呈	2名
R 5. 2. 12	少年フットサル大会(チラシ・賞品配付)	4名
R 5. 3. 17	県連青年部会連協・租税教育活動プレゼン 佐世保法人会青年部会	2名

(2) 女性部会

開催月日	会議・事業等	参加人員
R 4. 4. 14	全国女性フォーラム・静岡大会	2名
R 4. 7. 14	県連女性部会連絡協議会総会	2名
R4. 6. 21~ R4. 12.13	税に関する「絵はがきコンクール」 応募依頼	9名
R 4. 8. 4	夏のいちごプロジェクト	2名
R 4. 9. 20	税務関係研修会	9名
R 4. 10. 12	ボランティアウォーキング	11名
R 4. 10. 25	老人ホーム慰問	6名
R 4. 12.20・22	冬のいちごプロジェクト	10名
R 5. 1. 27	絵はがき審査会	5名
R 5. 2. 2	対馬法人会女性部交流会	6名
R 5. 2. 21	絵はがき優秀作品表彰状授与	1名

9. 諸会議関係

(1) 定時総会

開催月日	会議名	会場	参加人員
R 4. 5.12	第10回連絡協議会 (女性部)	ビューホテル壱岐	14名

R 4. 5.19	第10回連絡協議会 (青年部)	クウォリティセンテ ーつばさ、うめしま	18名
R 4. 5.24	第10回定時総会	壱岐の島ホール	29名

(2) 理事会・委員会

開催月日	会議名	主な議題	会場	参加人員
R 4. 4. 6	正副会長会	4年度総会提出議案	事務所	4名
R 4. 4. 21	正副会長会	4年度総会提出議案	事務所	4名
R 4. 4.25	理事会	総会提出議案ほか	ステラコート太安閣	12名
R 4.10.14	広報委員会	広報紙編集協議	事務所	5名
R 4.10.18	理事会	税を考える週間・税 のひろばについて他	ビューホテル壱岐	14名
R 4.11.17	理事会	組織、厚生合同委員 会	ステラコート太安閣	13名
R 5. 1. 10	正副会長会	予算書(案)について	事務所	4名
R 5. 1. 24	理事会	事業計画・予算案他 (賀詞交換会)	芦辺町 かねや別館	11名
R 5. 3. 2	正副会長会	第11回定時総会の開 催について他	事務所	4名

<青年部会>

R 4. 4.13	理事会	協議会提出議案	事務所	11名
R 4. 6. 1	理事会	事業実施計画につい て	事務所	8名
R 4. 8.31	理事会	租税教室・税務研修会	事務所	10名
R 4. 10.19	理事会	チャリティ事業他	事務所	10名
R 5. 3. 8	理事会	令和5年度事業計画 案・支出計画他	事務所	11名

<女性部会>

R 4. 4.11	理事会	協議会提出議案	事務所	10名
R 4. 8. 2	理事会	事業実施計画	事務所	10名
R 5. 2. 16	理事会	事業計画・収支計画	事務所	10名

(3) その他会議

開催月日	会議名	主な議題	会場	参加人員
R 4.4.18	監査会	3年度決算監査	事務所	3名
R 4.4.11	女性部監査	3年度決算監査	事務所	2名
R 4.4.13	青年部監査	3年度決算監査	事務所	3名

(4) 関係団体出席会議等

開催月日	会 議 名	主な議題・内容	会 場	参加人員
R 4. 4.15	税連協監査会	3年度帳簿監査	法人会事務所	1名
R 4. 5. 27	租税教育推進協	事業計画審議	税務署	2名
R 4. 6. 8	県連総会	決算・予算審議ほか	長崎市	4名
R 4. 6.28	県連局長会	全法連専務理事会報告	長崎市	1名
R 4. 9.12	県組織委員会	会員増強策ほか	長崎市	2名
R 4. 9.26	税連協総会	決算・予算審議ほか	壱岐の島ホール	1名
R 4.10.5	県連局長会	全法連会議報告ほか	長崎市	1名
R 4.11.17	組織委員会	会員増強ほか	ステアコート太安閣	14名
R 4.11.17	厚生委員会	推進実績・計画ほか	組織厚生合同開催	14名
R 4.11.28	税連協抽選会	税金クイズ抽選会	税務署	3名
R 5. 1.11	税連協小委員会	確定申告事務について	壱岐島荘	1名
R 5. 1.19	県連局長会	助成金の件	長崎市	1名
R 5. 3. 6	県厚生委員会	第2回厚生委員長会	長崎市	1名
R 5. 3. 9	県総務委員会	5年度事業計画・予算	長崎市	1名
R 5. 3. 14	組織委員会	会員増強策ほか	佐世保市	2名
R 5. 3.25	県連理事会	5年度事業計画・予算	長崎市	1名
R 5. 3.27	消費税パレード	期限内納付推進	島内一円	11名
(青年部会)				
R 4. 4. 21	九北法青連協	租税教育プレゼン	長崎市	1名
R 4. 5. 19	県法青連	決算・事業計画等審議	長崎市	1名
R 4. 6. 21	県法青連	健康経営・租税教育活動への取り組み	長崎市	1名
R 4. 8. 26	九北法青連協	決算・事業計画等審議	福岡市	1名
R 5. 3. 17	県法青連	租税教育活動・研修会	佐世保市	2名
(女性部会)				
R 4. 7. 14	県法女連会	決算・事業計画等審議	長崎市	2名
R 4.10. 6	県法女連会	女性部会全国大会	長崎市	1名

貸借対照表

令和5年3月31日現在

公益社団法人老岐法人会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,400,785	3,447,096	△ 46,311
前払金	30,550	14,330	16,220
流動資産合計	3,431,335	3,461,426	△ 30,091
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	9,800	3,226,000	△ 3,216,200
公益事業引当資産	1,450,000	1,450,000	0
減価償却引当資産	891,924	440,803	451,121
社会貢献活動引当資産	1,200,000	1,200,000	0
周年行事引当資産	300,000	300,000	0
特定資産合計	3,851,724	6,616,803	△ 2,765,079
(3) その他固定資産			
建物	326,585	388,325	△ 61,740
建物付属設備	328,009	378,326	△ 50,317
構築物	1,386,000	1,570,800	△ 184,800
什器備品	276,937	431,201	△ 154,264
土地	300,000	300,000	0
電話加入権	74,984	74,984	0
その他固定資産合計	2,692,515	3,143,636	△ 451,121
固定資産合計	11,544,239	14,760,439	△ 3,216,200
資産合計	14,975,574	18,221,865	△ 3,246,291
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	76,954	65,656	11,298
流動負債合計	76,954	65,656	11,298
2. 固定負債			
退職給付引当金	9,800	3,226,000	△ 3,216,200
固定負債合計	9,800	3,226,000	△ 3,216,200
負債合計	86,754	3,291,656	△ 3,204,902
III 正味財産の部			
一般正味財産合計	14,888,820	14,930,209	△ 41,389
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(3,841,924)	(3,390,803)	(451,121)
正味財産合計	14,888,820	14,930,209	△ 41,389
負債及び正味財産合計	14,975,574	18,221,865	△ 3,246,291

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

公益社団法人老岐法人会

(単位:円)

科 目	予算額 [①]	決算額 [②]	差異 [②-①]
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,100	110	△ 990
基本財産受取利息	1,100	110	△ 990
受取会費	3,400,000	3,425,000	25,000
正会員受取会費	3,400,000	3,425,000	25,000
事業収益	271,000	73,000	△ 198,000
会員親睦事業収益	261,000	56,000	△ 205,000
社会貢献事業収益	10,000	17,000	7,000
受取補助金等	6,044,900	6,044,900	0
受取全法連助成金	5,244,900	5,244,900	0
受取県連補助金	800,000	800,000	0
受取負担金	410,000	450,000	40,000
青年・女性部会受取負担金	410,000	450,000	40,000
雑収益	463,000	359,054	△ 103,946
受取利息	0	104	104
雑収益	463,000	358,950	△ 104,050
経常収益計	10,590,000	10,352,064	△ 237,936
(2) 経常費用			
事業費	7,881,910	7,622,794	△ 259,116
給料手当	3,479,000	3,708,000	229,000
臨時雇賃金	24,200	0	△ 24,200
退職給付費用	99,400	100,800	1,400
福利厚生費	568,000	596,603	28,603
会議費	1,076,000	728,359	△ 347,641
旅費交通費	506,750	458,960	△ 47,790
通信運搬費	197,380	170,751	△ 26,629
減価償却費	270,510	324,808	54,298
消耗什器備品費	7,100	0	△ 7,100
消耗品費	329,450	378,490	49,040
修繕費	14,200	60,984	46,784
印刷製本費	191,000	193,600	2,600
燃料費	49,700	51,773	2,073
光熱水料費	59,640	64,561	4,921
保険料	4,260	3,608	△ 652
諸謝金	204,000	7,138	△ 196,862
租税公課	53,250	35,280	△ 17,970
支払負担金	228,000	219,000	△ 9,000
支払寄付金	10,000	17,000	7,000
委託費	33,000	33,000	0
会場費	60,000	23,680	△ 36,320
表彰費	12,000	11,000	△ 1,000

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

公益社団法人老岐法人会

(単位:円)

科 目	予算額 [①]	決算額 [②]	差異 [②-①]
リース料	296,070	350,875	54,805
支払手数料	56,800	47,598	△ 9,202
雑費	52,200	36,926	△ 15,274
管理費	2,708,090	2,770,659	62,569
給料手当	1,421,000	1,442,000	21,000
臨時雇賃金	5,800	0	△ 5,800
退職給付費用	40,600	39,200	△ 1,400
福利厚生費	232,000	232,011	11
会議費	45,000	65,495	20,495
旅費交通費	61,250	10,300	△ 50,950
通信運搬費	104,620	111,072	6,452
減価償却費	110,490	126,313	15,823
消耗什器備品費	2,900	0	△ 2,900
消耗品費	42,550	39,222	△ 3,328
修繕費	5,800	23,716	17,916
印刷製本費	0	14,640	14,640
燃料費	20,300	20,133	△ 167
光熱水料費	24,360	25,107	747
保険料	1,740	1,402	△ 338
租税公課	21,750	34,720	12,970
支払負担金	21,000	20,000	△ 1,000
委託費	264,000	264,000	0
会場費	30,000	33,370	3,370
渉外慶弔費	0	5,000	5,000
表彰費	10,000	20,000	10,000
リース料	120,930	136,451	15,521
支払手数料	23,200	18,250	△ 4,950
新聞図書費	69,000	68,500	△ 500
雑費	29,800	19,757	△ 10,043
経常費用計	10,590,000	10,393,453	△ 196,547
当期経常増減額	0	△ 41,389	△ 41,389
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 41,389	△ 41,389
一般正味財産期首残高	14,834,296	14,930,209	95,913
一般正味財産期末残高	14,834,296	14,888,820	54,524
Ⅲ 正味財産期末残高	14,834,296	14,888,820	54,524

正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

公益社団法人 壱岐法人会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
	税関連3事業	企業発展	社会貢献事業	共通	小計	共益事業			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	110	110	0	0		110
基本財産受取利息				110	110				110
受取会費	0	0	0	0	0	0	3,425,000		3,425,000
正会員受取会費							3,425,000		3,425,000
事業収益	0	0	17,000	0	17,000	56,000	0		73,000
会員親睦事業収益						0	56,000		56,000
社会貢献事業収益			17,000		17,000				17,000
受取補助金等	0	0	0	5,194,900	5,194,900	0	850,000		6,044,900
受取全法連助成金				4,894,900	4,894,900		350,000		5,244,900
受取県連補助金				300,000	300,000		500,000		800,000
受取負担金	0	0	0	0	0	450,000	0		450,000
青年・女性部会受取負担金						0	450,000		450,000
雑収益	0	0	0	0	0	240,000	119,054		359,054
受取利息						0	104		104
雑収益						0	240,000	118,950	358,950
経常収益計	0	0	17,000	5,195,010	5,212,010	746,000	4,394,054		10,352,064
(2) 経常費用									
事業費	5,207,492	155,826	749,321	0	6,112,639	1,510,155			7,622,794
給料手当	2,781,000	103,000	360,500		3,244,500	463,500			3,708,000
退職給付費用	75,600	2,800	9,800		88,200	12,600			100,800
福利厚生費	447,454	16,572	58,002		522,028	74,575			596,603
会議費	0	0	12,520		12,520	715,839			728,359
旅費交通費	458,960	0	0		458,960	0			458,960
通信運搬費	128,065	4,743	16,600		149,408	21,343			170,751
減価償却費	243,608	9,022	31,578		284,208	40,600			324,808
消耗品費	202,943	2,416	162,257		367,616	10,874			378,490
修繕費	45,738	1,694	5,929		53,361	7,623			60,984
印刷製本費	193,600	0	0		193,600	0			193,600
燃料費	38,831	1,438	5,033		45,302	6,471			51,773
光熱水料費	48,422	1,793	6,276		56,491	8,070			64,561
保険料	2,708	100	350		3,158	450			3,608
諸謝金	7,138	0	0		7,138	0			7,138
租税公課	26,460	980	3,430		30,870	4,410			35,280
支払負担金	141,000	0	20,000		161,000	58,000			219,000
支払寄付金	0	0	17,000		17,000	0			17,000
委託費	33,000	0	0		33,000	0			33,000
会場費	4,060	0	0		4,060	19,620			23,680
表彰費	11,000	0	0		11,000	0			11,000
リース料	263,158	9,746	34,112		307,016	43,859			350,875

正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

公益社団法人 壱岐法人会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
	税関連3事業	企業発展	社会貢献事業	共通	小計	共益事業			
支払手数料	35,851	1,201	4,810		41,862	5,736			47,598
雑費	18,896	321	1,124		20,341	16,585			36,926
管理費							2,770,659		2,770,659
給料手当							1,442,000		1,442,000
退職給付費用							39,200		39,200
福利厚生費							232,011		232,011
会議費							65,495		65,495
旅費交通費							10,300		10,300
通信運搬費							111,072		111,072
減価償却費							126,313		126,313
消耗品費							39,222		39,222
修繕費							23,716		23,716
印刷製本費							14,640		14,640
燃料費							20,133		20,133
光熱水料費							25,107		25,107
保険料							1,402		1,402
租税公課							34,720		34,720
支払負担金							20,000		20,000
委託費							264,000		264,000
会場費							33,370		33,370
渉外慶弔費							5,000		5,000
表彰費							20,000		20,000
リース料							136,451		136,451
支払手数料							18,250		18,250
新聞図書費							68,500		68,500
雑費							19,757		19,757
経常費用計	5,207,492	155,826	749,321	0	6,112,639	1,510,155	2,770,659		10,393,453
当期経常増減額	△ 5,207,492	△ 155,826	△ 732,321	5,195,010	△ 900,629	△ 764,155	1,623,395		△ 41,389
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用									
固定資産除却損						0	0		0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0		0
他会計振替額						0			0
当期一般正味財産増減額	△ 5,207,492	△ 155,826	△ 732,321	5,195,010	△ 900,629	△ 764,155	1,623,395		△ 41,389
一般正味財産期首残高				△ 1,285,371	△ 1,285,371	△ 3,112,123	19,327,703		14,930,209
一般正味財産期末残高	△ 5,207,492	△ 155,826	△ 732,321	3,909,639	△ 2,186,000	△ 3,876,278	20,951,098		14,888,820
Ⅲ 正味財産期末残高	△ 5,207,492	△ 155,826	△ 732,321	3,909,639	△ 2,186,000	△ 3,876,278	20,951,098		14,888,820

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却方法は、定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く。)は定額法)で行っている。

(2) 引当金の計上基準

・退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末において発生していると認められる額を、期末自己都合要支給額に基づいて計上している。

(3) リース取引の処理方法

・ファイナンス・リース取引

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税込額で表示している。

3. 会計方針の変更

該当なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の明細、増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	3,226,000	140,000	3,356,200	9,800
公益事業引当資産	1,450,000	0	0	1,450,000
減価償却引当資産	440,803	451,121	0	891,924
社会貢献活動引当資産	1,200,000	0	0	1,200,000
周年行事引当資産	300,000	0	0	300,000
小 計	6,616,803	591,121	3,356,200	3,851,724
合 計	11,616,803	591,121	3,356,200	8,851,724

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	5,000,000	-
小 計	5,000,000	0	5,000,000	-
特定資産				
退職給付引当資産	9,800	0	0	9,800
公益事業引当資産	1,450,000	0	1,450,000	0
減価償却引当資産	891,924	0	891,924	0
社会貢献活動引当資産	1,200,000	0	1,200,000	0
周年行事引当資産	300,000	0	300,000	0
小 計	3,851,724	0	3,841,924	9,800
合 計	8,851,724	0	8,841,924	9,800

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
建物	980,000	653,415	326,585
建物付属設備	900,720	572,711	328,009
構築物	1,848,000	462,000	1,386,000
什器備品	930,780	653,843	276,937
合 計	4,659,500	2,341,969	2,317,531

7. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

該当なし。

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
全法連補助金	全国法人会総連合	0	0	0	0	なし
県連補助金	長崎県法人会連合会	0	800,000	800,000	0	なし
助成金					0	
全法連助成金	全国法人会総連合	0	5,244,900	5,244,900	0	なし
合 計		0	6,044,900	6,044,900	0	

9. 重要な後発事象

該当なし。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載をしているので、省略した。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	3,226,000	140,000	3,356,200	0	9,800

財 産 目 録

令和5年3月31日現在

公益社団法人老岐法人会

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額			
(流動資産)	現金預金 預金	普通預金	運転資金として			
		十八親和銀行老岐支店		1,897,083		
		〃 (青年部)		208,842		
		〃 (女性部)		151,110		
		十八親和銀行老岐支店芦辺出張所		95,482		
		十八親和銀行老岐中央支店		902,435		
		〃		47,592		
		〃		98,241		
		<現金預金計>			3,400,785	
		前払金		全国法人会総連合	全国女性フォーラム旅費・登録料等	30,550
<前払金計>			30,550			
流動資産合計			3,431,335			
(固定資産)	基本財産	定期預金	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的の事業の共用財源として使用している。	十八親和銀行老岐支店	2,000,000	
				十八親和銀行老岐中央支店	3,000,000	
				<基本財産計>		
	特定資産	退職給付引当資産	普通預金	職員2名に対する退職金の支払に備えた積立資産	十八親和銀行老岐中央支店	9,800
		公益事業引当資産	定期預金		十八親和銀行老岐支店	1,450,000
					減価償却引当資産	普通預金
		社会貢献事業引当資産	定期預金		十八親和銀行老岐支店	900,000
					十八親和銀行老岐中央支店	300,000
		周年行事引当資産	定期預金		十八親和銀行老岐支店	300,000
		<特定資産計>			3,851,724	

財 産 目 録

令和5年3月31日現在

公益社団法人老岐法人会

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
その他固定資産	建物	郷ノ浦町東触590-4 (共用財産) 公益目的保有財産65% 管理目的の財源として使用する財産35%	326,585
	建物付属設備	トイレ・下水道工事 (共用財産) 公益目的保有財産65% 管理目的の財源として使用する財産35%	328,009
	構築物	駐車場舗装工事(アスファルト) (共用財産) 公益目的保有財産65% 管理目的の財源として使用する財産35%	1,386,000
	什器備品	エアコン S56UTEP-W (共用財産) 公益目的保有財産65% 管理目的の財源として使用する財産35%	25,125
		ヨド物置 (共用財産) 公益目的保有財産65% 管理目的の財源として使用する財産35%	129,683
		ダイキン 空気清浄機 (共用財産) 公益目的保有財産65% 管理目的の財源として使用する財産35%	51,041
		パソコン 富士通 (共用財産) 公益目的保有財産65% 管理目的の財源として使用する財産35%	71,088
	土地	郷ノ浦町東触590-4 (共用財産) 公益目的保有財産65% 管理目的の財源として使用する財産35%	300,000
	電話加入権	0920-47-5880 (共用財産) 公益目的保有財産65% 管理目的の財源として使用する財産35%	74,984
		<その他固定資産計>	2,692,515
固定資産合計			11,544,239
資産合計			14,975,574
(流動負債)			
	預り金	職員に対するもの 源泉所得税等の預り金	76,954
流動負債合計			76,954
(固定負債)			
	退職給付引当金	職員に対するもの 職員2名に対する退職金の支払いに備えたもの	9,800
固定負債合計			9,800
負債合計			86,754
正味財産			14,888,820